

## 教育研究評議会議事録（第211回）

日 時：令和4年2月24日（木） 14時58分～16時46分

場 所：事務局第一会議室

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、横山、宇佐美、  
八代、伊藤、上村、宇塚、関野、境野、丸山、松岡、山本（昭）、鎌田、清水、  
長田、大石、船崎、小藤田、山下

欠席者：田代、村上

### 配付資料

- |         |   |
|---------|---|
| 議題1     | 教員の懲戒に係る審査資料（取扱注意・回収資料）   |
| 議題2     | 国立大学法人岩手大学経営協議会学外委員（案）  |
| 議題3     | 岩手大学教養教育規則の一部改正（案）について  |
| 議題4     | 各学部に係る学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・<br>実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の修正について |
| 報告1     | 国立大学法人岩手大学顧問  |
| 報告2     | 第4期に向けた全学改組検討状況について   |
| 報告3     | 高大連携講座の履修科目に係る単位認定制度の導入について                                     |
| 報告4     | 「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」プログラム アドバイザリー<br>ボード評価                     |
| 報告5 - 1 | 教員人事に関する報告について（教育学部）  |
| 報告5 - 2 | 教員人事に関する報告について（教育学部）  |
| 報告5 - 3 | 教員人事に関する報告について（教育学部）  |
| 報告5 - 4 | 教員人事に関する報告について（理工学部）  |
| 報告5 - 5 | 教員人事に関する報告について（農学部）   |
| 報告6     | 学長・副学長会議報告（第224回～第227回）   |
| 報告7     | 危機管理委員会報告（第43回～第54回）  |
| 報告8     | 令和4年度入試委員会（臨時第2回、第6回、臨時第3回）議事録                                  |
| 報告9     | 入試結果報告（令和4年度一般選抜の出願状況、入学試験実施状況【学部・<br>大学院】、特別選抜実施結果【学部】）        |

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

### 議 題

#### 1. 教員の懲戒に係る審査について

学長から、教員2名の懲戒について審議する旨が述べられ、次いで、人事課長から懲戒審査手続等の説明後、事案内容、経緯及び2月17日開催の懲戒審査委員会の審議結果について説明があった。

学長から、懲戒審査委員会の報告に基づき、本会議において懲戒処分の必要があるとの提案があり、審議の結果、これを了承した。また、本人に交付する「審査説明書(案)」について提案があり、人事課長から説明後、審議の結果、原案のとおり了承した。

最後に、学長から、審査説明書交付後2週間以内に本人から申請される陳述の有無を踏まえて、次回教育研究評議会において処分及び量定の審査を行うとの発言があった。

## 2. 国立大学法人岩手大学経営協議会学外委員について

学長から、資料に基づき、国立大学法人岩手大学経営協議会学外委員について、現在の委員8名を継続することの説明・提案があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

## 3. 岩手大学教養教育規則の一部改正(案)について

学長から、岩手大学教養教育規則の一部改正(案)について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、科目改廃に伴う所要の改正であることの説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件は、令和4年4月1日から施行する旨の付言があった。

## 4. 各学部に係る学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の修正について

学長から、各学部に係る学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の修正について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、ディプロマ・ポリシーの修正はないが、人文社会科学部及び教育学部のカリキュラム・ポリシーの修正内容の説明があった。

審議において、下記の質疑応答があった。

・教員人事会議では担当科目を決めたうえで教員人事を了承しているが、担当教員が変わることによる理由でポリシーに記載されている授業科目を修正するのは如何か。

人文社会科学部長：平成28年度改組でプログラム制にした際、ポリシーに細かく科目名を記載した。令和6年度の改組に向けてプログラム再編を行う際には、教員が変わってもプログラムのポリシーを変えることのないよう考えていきたい。

・教育学部理数教育コースの「理数教材開発研究」の削除は、コースの根幹科目を削除することにならないか。

教育学部長：「理数教材開発研究」の教育内容は「教科教育法」に組み込むこととしており、第4期の人的に厳しい状況への対応としてご理解頂きたい。

・人文社会科学部の「選択科目」をポリシーに記載する必要はあるのか。

人文社会科学部長：カリキュラムの全体像を示したかった。次期改組の際には必修科目に絞るなど考えていきたい。

・専門教育科目だけでなく、教養教育科目についても担当教員によって教育目的や内容が変わることのないよう再定義する必要があるのではないか。

喜多理事：教養教育科目及び専門基礎科目についても、各学部の教務委員会及び学

部長と検討を進めているところである。

審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件は、令和4年4月1日から施行する旨の付言があった。

## 5. その他

なし

## 報 告

### 1. 国立大学法人岩手大学顧問について

学長から、資料に基づき、国立大学法人岩手大学顧問について、令和4年4月1日から1名委嘱する旨の報告があった。

### 2. 第4期に向けた全学改組検討状況について

藤代理事から、資料に基づき、第4期に向けた全学改組検討状況について、「人文社会科学部及び教育学部の再編」、「生命系の再編」、「農学部再編」及び「農学部獣医学部設置構想」の現時点における検討状況の報告があり、下記の意見があった。

- ・18歳人口の減少に伴う教員の需要については、確実にシミュレーションをして詳しいデータをもとに議論を進める必要があるのではないか。
- ・理工学部への改組の際に、生命系は農学部の生命系との差別化を図った。生命系を農学部へ集約後の理工学部の将来計画も進めていかなければならない。

また、教育学部長から、学部内の検討状況について補足説明があり、藤代理事から、来月の本会議では各学部における検討状況の報告を予定しており、本件については今後も情報共有をしていきたいとの付言があった。

### 3. 高大連携講座の履修科目に係る単位認定制度の導入について

喜多理事から、資料に基づき、高大連携講座の履修科目に係る単位認定制度の導入について報告があった。「科目等履修生」の制度を適用できないかとの意見があり、喜多理事から、制度の目的や規則改正の必要性など総合的に検討した結果であるとの説明があった。

### 4. 「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」プログラム アドバイザリーボード評価について

宮本副学長から、資料に基づき、「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」プログラム アドバイザリーボード評価について、令和3年12月24日開催のアドバイザリーボード評価結果及び同事業関連の今後の予定の報告があった。

### 5. 教員人事に関する報告について（教育学部、理工学部、農学部）

教員人事について、資料に基づき、教育学部長から3件、理工学部長から1件及び農学

部長から1件の報告があった。

6. 学長・副学長会議報告について

7. 危機管理委員会報告について

8. 入試委員会報告について

9. 入試結果の報告について

資料のとおり。

10. その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の3月25日(金)の15時から開催することが述べられた。